

地域資源を活用した環境に優しい景観づくり

長野県下諏訪町

- 温泉掛け流し施設による地域資源を活用した景観づくりの試行
- ソーラー発電LED歩道照明灯による環境に優しい景観づくりの検討
- 住民団体または地元企業との協働により創造する地域の景観づくりの試行

<p>概要</p>	<p>当町の旧市街地は、諏訪大社下社の門前町であり、江戸五街道の旧中山道と甲州道中の追分けの温泉宿場町であったが、人口の流出と高齢化による空洞化が進み、景観や歴史的風致を育む主体である住民活動の活性化が必要であり、神話の時代からの歴史を持ち中山道随一といわれた下諏訪温泉を始めとした下諏訪町固有の地域資源を活用した地域住民が主体となったまちづくりを進めるため、温泉を活用した景観づくりに取り組んだ。</p> <p>また、当町は諏訪湖に面した湖水と山並みの良好な景観を維持するため、四半世紀に渡り諏訪湖畔の無電柱化と緑化及び健康増進のためのジョギングコースの整備などを推進してきたが、関係施設の更新時期を迎え、施設利用者の便益を図りつつ環境にも配慮した施設更新のため、地元製造業のものづくり技術を活用して自動追尾型ソーラー発電とLED灯具によるジョギングコースの歩道照明灯の更新を進める地産地消の景観形成について検証を行った。</p>
<p>実施内容</p>	<p>旧中山道下諏訪宿のエリアにおいて組織されているまちづくり協議会は従来から行灯による街なみのライトアップや沿道の緑化などの景観形成事業に取り組んできた。これらの活動を発展させ、地域の歴史的資源である温泉を活用した新たな景観要素を街なみに付加して地域の活性化をさらに推進するため、温泉の掛け流し施設の設置を試行した。</p> <p>① この効果と発展性を確認するため、まちづくり協議会が自ら街頭アンケート調査を実施し、これを応援する観光協会がまちづくりシンポジウムを開催して地域資源を活用した景観まちづくり活動による地域の活性化が広く町内へ普及されるよう取組が行われた。</p> <p>取組にあたっては、住民組織であるまちづくり協議会、温泉を管理する下諏訪財産区、下諏訪観光協会、下諏訪町が労力や資金を出し合い、民公協働による景観づくりの推進を図った。</p> <p>下諏訪町は明治時代の製糸業の発展以来製造業が集積し、現在ものづくりの技術開発が各企業により積極的に推進されており、下諏訪町の推進する諏訪湖畔の景観形成と健康増進施策に協調して企業のコラボレーションによる自動追尾型ソーラー発電型LED歩道照明灯が開発試作された。この試作品の開発にあたっては、地元企業の共同体と下諏訪町が協働して、景観的な意匠や環境に負荷の少ない省エネルギー性について検討し、製品試作、試験点灯、試験設置を行い、街頭アンケート調査などにより効果の検証を行った。</p> <p>上記①及び②の取組にあたっては、まちづくり協議会や地元企業の景観まちづくりの発案提案に基づき、下諏訪町が各種団体との調整と公共施設整備としての支援を行う形の民公協働の取り組みとした。</p> <p>温泉掛け流し施設の設置による景観づくりにあたっては、地元まちづくり協議会の提案に沿って下諏訪町が温泉管理者や観光協会等の支援団体への投げかけと連絡調整及び道路上の工事等の支援を行い、まちづくり協議会が自らの労力によって掛け流し施設を作成設置した。</p> <p>③ ソーラー発電歩道照明灯の試作にあたっては、下諏訪町がそれぞれの得意技術を持った企業の共同体の構成を積極的に支援し、企業による製品開発と試験設置を経て、町がその効果を検証した。</p>

<p>取組の成果</p>	<p>本取組において、街頭アンケートの実施・ライトアップイベントの開催・まちづくりシンポジウムの開催などの周知活動を積極的に展開したことにより、報道などでも各種の紹介がされ、地元のまちづくり協議会も通りに人の行き来が増えたことを実感しており、景観づくりによる厳冬期の夜間においても温泉の湯気と宿場町の街なみライトアップにより人の行き来が生じることが確認でき、景観まちづくりの推進が地域活性化に寄与することが確認された。</p> <p>また、本調査において行政の産業振興部門が製品開発に対して支援を行い、これに連携してまちづくり部門が景観的な検証作業を行うことにより「景観による産業興し」の施策スタイルを提言したが、景観形成の視点に立って農林業・工業等の各種産業主体への提案・投げかけによるスタイルの施策の展開も可能であると考えられる。街頭アンケートの感触を通じ、地元の企業が地元の景観をつくるという地産地消型の取組について住民の好意的な理解が確認された。</p> <p>今回の2つの取組において、地域住民等のまちづくりへの発想に対して行政が支援をして民公協働の事業をするという行政主導でないスタイルは、景観まちづくりの推進に相性が良く、有効に作用することが確認された。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>本調査において、温泉熱利用発電システムによる環境に負荷の少ないライトアップ手法について検討を行ったが現状の技術においては実現が不可能であった。今後新たな技術が導入されることにより、新たな地域資源を活用した景観づくりが進むことが期待される。</p>
<p>今後の展開</p>	<p>温泉掛け流し施設については、風情の醸成に伴い人通りが増えるなどの効果が確認できたため、他のまちづくり協議会も同様の取組活動を計画している。また、本町においては、温泉の各戸配湯が行われている区域があり、これらの余り湯を活用した各戸の取組が期待される。</p> <p>自動追尾型ソーラー発電によるLED歩道照明灯については本調査により概ねの効果の検証ができたので、下諏訪町は平成22年度予算により7基の施設更新を予定している。</p>
<p>市町村名</p>	<p>長野県下諏訪町</p>
<p>部局／担当者名</p>	<p>建設水道課／河西喜広</p>
<p>連絡先</p>	<p>TEL : 0266-27-1111</p>
<p>リンク</p>	

(写真又は図)



取組①温泉掛け流し施設設置状況



取組①温泉掛け流し施設(行灯によるライトアップ)



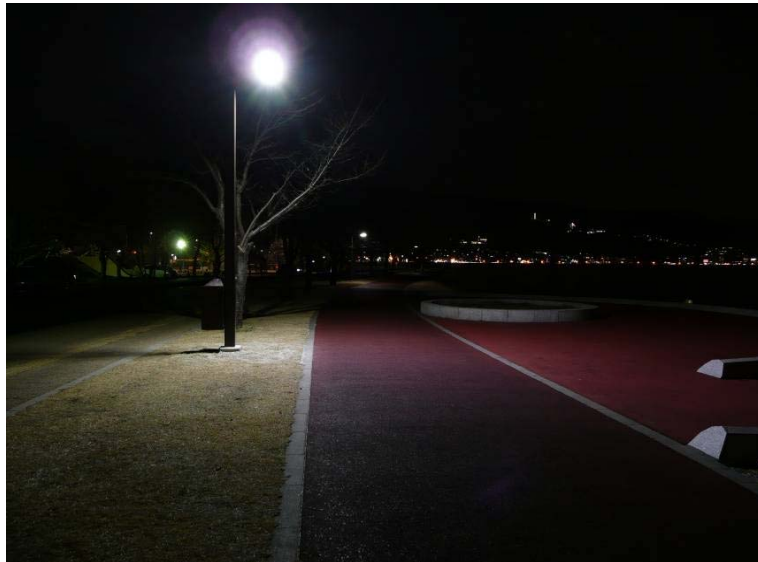
取組①まちづくりシンポジウムの開催



取組②自動追尾ソーラー発電LED歩道照明灯設置状況



取組②自動追尾ソーラー発電LED歩道照明灯設置状況



取組②自動追尾ソーラー発電LED歩道照明灯点灯状況